



# World-Dashboard UI Analysis and Font-Size Improvement Report

## プロジェクト概要

World-Dashboard は、世界各国の地政学的リスクや経済・社会指標を俯瞰的に比較できる Web アプリケーションであり、世界の構造を可視化することが目的です <sup>①</sup>。現在のバージョン v6.3 では、インタラクティブ世界地図、世界ランキングパネル、国別詳細パネル、深掘りレポートパネル、ニュースフィードなど複数の UI コンポーネントを備えています <sup>②</sup>。デザインはサイバーパンク風の暗色背景にノイズやスキャンラインを重ね、JetBrains Mono フォントやネオンサインの色使いでデジタルな雰囲気を強調していると README が記載しています <sup>③</sup>。スタイルは Tailwind CSS をベースにし、一部にカスタムクラスでガラス効果やテキストグローを実装しています <sup>④</sup>。

## UI における文字サイズの現状

リポジトリ内では、多くのコンポーネントで **8-10 px** という非常に小さなフォントサイズがハードコーディングされています。特に `text-[8px]`、`text-[9px]`、`text-[10px]` などの Tailwind の任意値記法が頻繁に使われています。以下に主な UI と対応ファイルを示します。

UI コンポーネント	対応ファイル / 行	現状の文字サイズ・問題点
ロゴ・ヘッダー	<code>src/App.jsx</code> 148-160 行	ロゴ「WORLD DASH」は <code>text-xl</code> と見やすいが、バージョン情報のキャプションは <code>text-[8px]</code> で字間を大きく広げており <sup>④</sup> 、視認性が落ちている。またヘッダーボタンのラベル（Layers, Open Analytics など）は <code>text-[10px]</code> に固定されている <sup>⑤</sup> 。
ツールチップ	<code>src/App.jsx</code> 275-294 行	カーソルホバー時に表示されるツールチップ内で国名は <code>text-sm</code> だが、ノード情報やレイヤースコアは <code>text-[9px]</code> 、 <code>text-[8px]</code> となっている <sup>⑥</sup> 。暗背景と細いフォントの組み合わせで読み取りづらい。

UI コンポーネント	対応ファイル / 行	現状の文字サイズ・問題点
<b>Analytics Panel (世界ランキング)</b>	<code>src/components/AnalyticsPanel.jsx</code> 44-69 行	パネルヘッダーのタイトル「GLOBAL_METRICS」は <code>text-[9px]</code> <sup>7</sup> 、タブラベルも <code>text-[9px]</code> <sup>8</sup> に固定。ランキングリストでは順位インジケータが <code>text-[10px]</code> 、国名は <code>text-xs</code> <sup>9</sup> 。テーブル的 UI であるため文字が小さいと理解しづらい。
<b>Country Details Panel (国別詳細)</b>	<code>src/components/CountryDetails.jsx</code> 51-63 行	ステータス表示「TARGET_ACQUIRED」などは <code>text-[9px]</code> 、ISO 3 コードは <code>text-[9px]</code> <sup>10</sup> 。ヘッドラインを表示するタイプライター部は <code>text-xs</code> <sup>11</sup> 。メトリクスカード内ではラベルが <code>text-[9px]</code> で値は <code>text-lg/</code> <code>md:text-xl</code> とメリハリがあるが、ラベルが小さすぎる。
<b>Deep Report Panel</b>	<code>src/components/DeepReportPanel.jsx</code> 37-44 行	セクション見出し（Executive Summary など）は <code>text-[10px]</code> <sup>12</sup> 、本文は <code>text-xs</code> <sup>13</sup> 。リソース一覧では資源名が <code>text-[10px]</code> <sup>14</sup> 。詳細レポートであるにも関わらず全体的に文字が小さく、読み進めるのに疲労感がある。
<b>Global Stream Panel (ニュースフィード)</b>	<code>src/components/GlobalStreamPanel.jsx</code> 26-48 行	ニュースソース名は <code>text-[10px]</code> <sup>15</sup> 、記事リストの日付は <code>text-[9px]</code> <sup>16</sup> 、記事タイトルは <code>text-xs</code> <sup>17</sup> 。情報量が多い割に文字が小さいため、一覧性が悪い。

## 問題の本質

- ・**任意値による極小フォント** - Tailwind CSS の `text-[8px]` や `text-[9px]` などを多用しており、デスクトップディスプレイでも小さ過ぎる。ユーザは拡大しない限り読みづらく、アクセシビリティ基準 (WCAG) の最低 12 px を下回っている。
- ・**大きな字間 (tracking)** - 英語表記を強調するため `tracking-[0.3em]` など大きな字間を適用しており、小さなフォントと組み合わせると可読性がさらに低下する<sup>4</sup>。
- ・**カラフルな背景と薄い文字色** - 背景が半透明でノイズやグラデーションが入っているうえ、文字色が淡色 (`text-slate-400` など) でコントラストが不足している。

## UI 改善に対応するファイルと重点箇所

以下のファイルはフォントサイズの変更が UI に大きく影響します。レポジトリ内で実際にコードを修正する際の参考として記載します。

1. `src/App.jsx` - 全体レイアウトとヘッダー／ツールチップ／フッターを担当。`<header>` 内のボタンやツールチップ内のテキストサイズが定義されている<sup>18</sup> <sup>6</sup>。ここを修正することでナビゲーション関連の文字サイズが調整できる。
2. `src/components/AnalyticsPanel.jsx` - 世界ランキングのタブとリストの UI。`text-[9px]` や `text-xs` を `text-sm` 以上に置き換え、`tracking` を減らすことで視認性を向上できる<sup>8</sup> <sup>19</sup>。
3. `src/components/CountryDetails.jsx` - 国別詳細パネル。ヘッダー部分のステータスラベルや ISO コードのフォントサイズが小さい<sup>10</sup>。ここではラベルを `text-sm` 以上にし、タイポグラフィにバリエーションを持たせる。
4. `src/components/DeepReportPanel.jsx` - 深掘りレポート。セクション見出しを `text-sm`、本文を `text-base` に統一することでレポートの読みやすさが向上する<sup>12</sup> <sup>13</sup>。
5. `src/components/GlobalStreamPanel.jsx` - ニュースフィード。日付やタイトルを `text-sm` に拡大するほか、行間と余白を調整して読みやすいリストにする<sup>20</sup>。

## 改善提案

以下は UI の視認性を高めつつデザインバランスを維持するための具体的な改善提案です。

1. 基本フォントサイズの統一
2. Tailwind CSS のデフォルトスケール (`text-xs` ≈0.75 rem、`text-sm` ≈0.875 rem、`text-base` ≈1 rem) を利用し、任意のピクセル指定をやめる。特にボタンラベルや表中の文字は少なくとも `text-sm` にする。
3. `tailwind.config.cjs` の `theme.extend.fontSize` にカスタムサイズ（例：`tiny: ['0.7rem', { lineHeight: '1rem' }]`）を追加し、プロジェクト全体で再利用するようにする。これにより一括でサイズを調整でき、ハードコードを減らせる。
4. 字間の最適化
5. ロゴのキャプションやヘッダーなどで `tracking-[0.3em]` 以上の大きな字間が使われているが、小さいフォントと組み合わせると読みづらい。字間を `tracking-wide` (0.05em) 程度に減らすか、フォントサイズを大きくした上で字間を調整する。
6. 国名のような可変長テキストは字間を控えめにし、`uppercase` を多用しない。日本語表記では大文字変換が不要であり、`text-transform` の使用を限定する。
7. 色とコントラスト
8. グレー (`text-slate-400` など) を主体にすると暗い背景とのコントラストが不足する。主要テキストには `text-slate-200` または `text-white` を使い、補助テキストでは `text-slate-400` を使用する。

9. ボタンやラベルの背景色と枠線を見直し、アクティブ状態と非アクティブ状態を明瞭に区別する。

## 10. レスポンシブ対応

11. Tailwind のブレークポイント (`sm:`、`md:` など) を利用し、画面幅に応じてフォントサイズを縮小・拡大する。現状は `md:text-xl` のように一部で設定されているが、全体的に統一すると良い。

12. 小さな画面では情報を省略するか折り畳み、デスクトップでは十分な余白を確保して文字を大きく表示する。

## 13. ツールチップやニュース一覧の読みやすさ向上

14. ツールチップ内のラベル (NODE や ISO コード) は `text-xs` または `text-sm` にし、行間 (`leading`) を広げる。背景の半透明度を上げてコントラストを確保する <sup>6</sup>。

15. ニュースフィードではタイトルを 2 行程度で省略表示し、日付やソース名はフォントサイズを統一して下線やアイコンで区別する。

## 16. リファクタリング方針

17. 既存コードでは各コンポーネントにサイズがハードコードされている。Tailwind の共通ユーティリティを利用し、`className` による反復記述を減らすため、共通スタイルをまとめた小さなコンポーネント (例：`<SmallLabel>`) を作成する。

18. コンポーネントレベルで `className` の文字列連結が長く読みづらいため、`clsx` ライブラリや Tailwind `cva` (Class Variance Authority) を導入して状態に応じたクラス切り替えを整理する。

## まとめ

World-Dashboard はリスク・経済・社会指標を俯瞰的に理解するための先進的なダッシュボードですが、文字が小さ過ぎるためユーザビリティに課題がある。上記の分析により、主要な UI コンポーネントがどのファイルに実装されているかを把握しました。これらのファイルに対して、デフォルトの Tailwind フォントサイズを用いた統一的なスケールを採用し、字間や色のコントラストを調整することで、視認性とアクセシビリティを大幅に改善できます。このレポートをベースにリファクタリングを行うことで、将来的な機能追加にも耐えうる柔軟な UI となるでしょう。

---

1 2 3 README.md

[https://github.com/GiruStar-bot/worlddashboard\\_2/blob/main/README.md](https://github.com/GiruStar-bot/worlddashboard_2/blob/main/README.md)

4 5 6 18 App.jsx

[https://github.com/GiruStar-bot/worlddashboard\\_2/blob/4f1b64de20fa49e60e9d282fbeaa6a8ec5a5da47/src/App.jsx](https://github.com/GiruStar-bot/worlddashboard_2/blob/4f1b64de20fa49e60e9d282fbeaa6a8ec5a5da47/src/App.jsx)

7 8 9 19 AnalyticsPanel.jsx

[https://github.com/GiruStar-bot/worlddashboard\\_2/blob/4f1b64de20fa49e60e9d282fbeaa6a8ec5a5da47/src/components/AnalyticsPanel.jsx](https://github.com/GiruStar-bot/worlddashboard_2/blob/4f1b64de20fa49e60e9d282fbeaa6a8ec5a5da47/src/components/AnalyticsPanel.jsx)

10 11 **CountryDetails.jsx**

[https://github.com/GiruStar-bot/worlddashboard\\_2/blob/4f1b64de20fa49e60e9d282fbeaa6a8ec5a5da47/src/components/CountryDetails.jsx](https://github.com/GiruStar-bot/worlddashboard_2/blob/4f1b64de20fa49e60e9d282fbeaa6a8ec5a5da47/src/components/CountryDetails.jsx)

12 13 14 **DeepReportPanel.jsx**

[https://github.com/GiruStar-bot/worlddashboard\\_2/blob/4f1b64de20fa49e60e9d282fbeaa6a8ec5a5da47/src/components/DeepReportPanel.jsx](https://github.com/GiruStar-bot/worlddashboard_2/blob/4f1b64de20fa49e60e9d282fbeaa6a8ec5a5da47/src/components/DeepReportPanel.jsx)

15 16 17 20 **GlobalStreamPanel.jsx**

[https://github.com/GiruStar-bot/worlddashboard\\_2/blob/4f1b64de20fa49e60e9d282fbeaa6a8ec5a5da47/src/components/GlobalStreamPanel.jsx](https://github.com/GiruStar-bot/worlddashboard_2/blob/4f1b64de20fa49e60e9d282fbeaa6a8ec5a5da47/src/components/GlobalStreamPanel.jsx)